令和２年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　島根県　】

学校名【　大田市立第三中学校　】

１実践テーマ	Ⅰ・Ⅱ・(Ⅲ)・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
２実施対象者 （学年・人数）	２・３年　１３名　　地域の方３２名
３展開の形式	（１）学校における活動 (①)教科名（総合的な学習の時間・保健体育） ② 行事名（　　） ③ その他（　　） （２）地域における活動 ① イベント名（　　） ② その他　（　　）
４　目　標 （ねらい）	１．オリンピアン・パラリンピアンを招聘し、その生き方や考え方に触れ、夢や志を語れる生徒の育成をめざす。 ２．講演会やパラ競技の体験を通じて、障がいやパラ競技への理解を深め、共生社会の構築について学び、自分たちにできることを考える。
５　取組内容	 【平岡さんの講演会の様子】

【山田さんの講演に向けての体験活動・調べ学習の様子と講演会】

【拝上さんの講演に向けての事前学習や体験学習の様子】

６　主な成果	実際にオリンピックに出場しメダルを取られた平岡さん、現在パラリンピックを目指しておられる山田さん、またパラ種目を普及しようとして活動されている拝上さんの生き方や考え方を聴くことによって、生徒一人一人の視野が広がり、人権感覚を高めることができたと思います。 【生徒の感想より】 ・この事業を通して学んだことは、「障がいだからかわいそうではない」という事や「障がいは不得意と同じ」という事です。一般の人と同じ目線で見ることが大切だと思いました。 ・３人の方のお話を聞いて同じだなという事がありました。挫折・失敗をしても努力をしているという事です。私は話を聞いて、挫折や失敗をしても少しずつでいいのでチャレンジすることの大切さを学びました。

	・そんなにスポーツに興味がなく、パラ種目も知りませんでした。だけど、講演や体験をたくさんしたことでスポーツにも興味をもつことができました。また、パラ種目を知ったり体験したりしたことで、競技の楽しさや難しさを知ることができました。今回の体験を活かし、将来、障がいがある人でもない人でも、一緒にやっていけるようにしたいです。
７実践において工夫した点（事業の特色）	カヌー体験や合同体育によるフットサルの授業を事前学習として行った。その体験を基に話を聞いたことで、講師の方の大変さやすごさを実感することができた。また生徒だけでなく職員も一緒に体験した。
８主な課題等	・コロナ禍での講演会等の開催であったので、来校者のマスクの着用、手指消毒や校内の消毒に配慮した。 （コロナウィルス感染症対策の徹底） ・本校は小規模校であるので多くの事業を行うことができたが、学校の規模に応じた事業の工夫が必要だと思った。
９来年度以降の実施予定	・今年度来校していただいた平岡さん、山田さん、拝上さんから学んだ「挑戦することの大切さや共生社会の在り方」について更に学習を深めていけるように、来年度取り組んでいきたい。